

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア 学則変更(収容定員変更)の内容.....	2
イ 学則変更(収容定員変更)の必要性.....	2
ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容.....	3

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

本学は、令和7（2025）年4月1日より収容定員を変更する。社会福祉学部社会福祉学科の入学定員を減員し、美術学部デザイン学科、美術学部建築学科の入学定員の増員を行い、収容定員を下表のとおり変更する。なお、収容定員変更の前後で大学全体における入学定員及び収容定員の増減は伴わない。

【本学全体の入学定員・収容定員の変更計画】 (単位：名)

学部	学科	入学定員			収容定員
		変更前	変更後	増減	
社会福祉学部	社会福祉学科	60	40	-20	160
美術学部	デザイン学科	40	50	+10	200
	建築学科	40	50	+10	200
経営学部	経営学科	120	120	—	480
合 計		260	260	±0	1,040

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、「必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。」を教育理念として掲げ、それを成し遂げることのできる豊かな教養と専門知識および技術を身につけた課題探究能力および創造力に富んだ有為な人材の育成に取り組んでいる。

この理念に掲げる人材育成をより一層推進するためにも、大学として入学定員充足率の更なる適正化を図ることが必要であると考えます。

まず、社会福祉学部社会福祉学科は、過去5年における収容定員充足率が1.00倍を下回り続けている状況にあり、今後も18歳人口減少等の影響により、社会福祉分野の志願者減が加速していくことが予想され、現状の入学定員を確保することが厳しいと判断したため、令和7年度より入学定員を60名から20名減員した40名とし、収容定員充足率の更なる適正化を図ることとした。

次に、美術部デザイン学科は、過去4年において入学定員を充足する入学者を集めており、2024年5月1日の収容定員充足率は1.15倍を超えている。このような現状から、今後の教育課程の改革等を見据えて、より効果的な教育効果を達成すると共に、デザイン分野に対する高校生をはじめとした社会からの要請に応えるため、令和7年度より入学定

員を40名から10名増員した50名とし、収容定員充足率の更なる適正化を図ることとした。

次に、美術部建築学科は、過去4年において入学定員を充足する入学者を集めており、2024年5月1日の収容定員充足率は1.15倍を超えている。このような現状から、今後の教育課程の改革等を見据えて、より効果的な教育効果を達成すると共に、建築分野に対する高校生をはじめとした社会からの要請に応えるため、令和7年度より入学定員を40名から10名増員した50名とし、収容定員充足率の更なる適正化を図ることとした。

以上のように、本学の教育理念に基づく人材育成を達成するため社会からの要請に応じつつ、各学部学科における改革と改善を常に念頭に置き、それぞれの現状に即した形で定員変更をおこなうものである。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織の変更はない。また、施設・整備等についても、平成12(2000)年度に美術学部デザイン学科入学定員110名、同建築学科90名の認可を受けた施設・設備等を有していることから、既存の設備で対応出来るため、変更は行わない。

以上